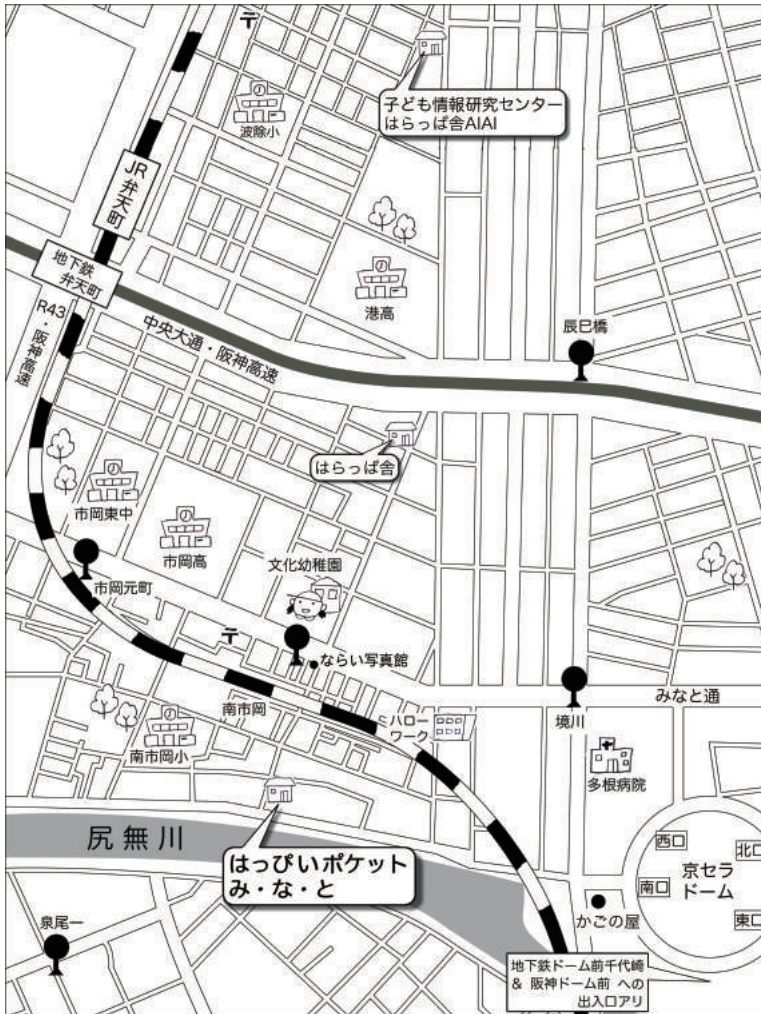


はっぴい ポケット み・な・と

つどいの広場「はっぴいポケットみ・な・と」の主催団体である(公社)子ども情報研究センターでは、子どもの人権に思いを寄せる会員がさまざまな活動をしています。子どもとともに安心して人とつながれる居場所として「はっぴいポケットみ・な・と」を一緒につくっていきませんか！



子育て中の親と子どもだけではなく、プレママ、プレパパ、おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所のみなさん、いろんな国のいろんな人が集まってつながりや笑顔が生まれる広場

商店街や子育てサークルをはじめ、地域のたくさんの方々とつながりを大切にしています

好きな時にきて、自由にくつろいでもらえる時間を共有したり、時には楽しいイベントを開催したりみんなで作る広場です

大阪市地域子育て支援拠点事業 はっぴいポケットみ・な・と

費用：無料（行事等では実費徴収もあります）

開所：月・火・水・金・土 AM10:00～PM3:00

（木・日・祝日・年末年始などはおやすみ）

場所：尻無川自治会館1階（港区南市岡1-11-19）

電話：070-6649-4355

メール：hapipominato@willcom.com

アクセス：地下鉄&JR弁天町駅から徒歩約20分

地下鉄&JR大正駅から徒歩約20分

南市岡バス停から徒歩約8分

地下鉄ドーム前千代崎駅から徒歩約20分

阪神ドーム前駅から徒歩約20分

委託運営：(公社)子ども情報研究センター

はっぴいポケットみ・な・とのサイトへ



【お知らせ】午前9時に大阪市に「暴風警報」又は「特別警報」が発令された場合、または状況により休館になる場合があります。その際のお問い合わせは（10:00～）(公社)子ども情報研究センター（TEL）06-4708-7087（HP）<http://www.kojoken.jp/>

わたしの子

人づきあいが苦手なAちゃんママは、「幼稚園に入園したら、どうしてもママ友とつきあわなければならぬのだから、それまでは気を遣う人間関係はいやだ」と言い、サークルや公園などには行かず、Aちゃんとふたりっきりで1日中家のなかで生活していました。

1歳半の頃、Aちゃんは昼間家にいるとき、自分で壁に頭をぶつけたり、髪の毛を掻きむしったりするようにになりました。ママは「ずっと家のなかだけじゃ欲求不満で、外に行きたいのはわかるけど、わたしはいやだし」と自分の気持ちを優先しながらも、このままいいのか悩んでいました。

やがてAちゃんは幼稚園に行くようになりました。それまでずっとママとふたりっきりで、ほかの子どもとあそんだ経験が少なかったAちゃんですが、周囲の心配をよそに毎日楽しそうに通園して行きました。あんなに激しかった髪の毛を掻きむしる癖や、自分で壁に頭をぶつける癖も見られなくなりました。その代わりに、給食をみんなまで食べたときの話や、アヒルのお世話をみんなです話を楽しそうにしていました。ママは、先生から「Aちゃん、みんなとあそんで、とっても楽しそうですよ」と言われて、「やっぱり友だちとあそびたかったんだなあ。AちゃんにはAちゃんの良い気持ちや、やりたいことがあったんだなあ」と思ったそうです。

自分だけを頼りにしてくる子どもといっしょにしていると、子どもをまるで自分の所有物のように感じてしまい、子どもの気持ちを置いてきぼりにしてしまうことがあるのではないのでしょうか。でも、子どもには子どもの気持ちがあり、育ちあう社会があると思います。子どもの気持ちを大切にすることなのだと思います。みんなが育ちあえたら素敵だなあと思います。

冊子「新しい子育て、子育て支援子育て温泉より」

公益社団法人子ども情報研究センター 発行・販売



ファミリー子育て何でもダイヤルは、あなたのほっとチャンネルです。

毎週水曜日 10:00～21:00
でんわ 06-6585-9287

大きな悩み… 小さな悩み
誰かに話せば すっきりするかも…

